



Business Report

第79期 中間報告書

2025年4月1日～2025年9月30日



代表取締役社長

曾谷 太

Futoshi Sotani

株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第79期中間期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、雇用・所得環境も改善され、各種政策の効果により、国内経済は緩やかな回復が続いております。一方で、円安の進行による物価上昇や、金利の上昇などによる企業の経済活動や個人消費への影響が懸念され、海外では、ウクライナ侵攻問題の長期化によるエネルギー・資源価格の大幅な上昇、長期的な円安傾向、物価や金利の上昇、中東問題、中国の景気鈍化、米国の広範な関税政策による景気減速の懸念、地政学リスクの高まりから、当社グループの経営環境は、依然として先行き不透明な状況が続くものと想定しております。

こうした状況下で当社グループは、引き続き、グループの特長を生かした事業運営とスピーディーな経営判断を心がけ、関係

するグローバルな成長市場とともに、今後市場拡大が見込まれる高速5G通信・半導体・次世代自動車・自然エネルギー分野・建材、化粧品、介護食、特殊素材を用いたアパレル等への差別化した製商品の拡販、新規顧客の開拓、バイオマテリアル、特徴あるスイーツを含めた国内外の産学連携の加速に注力しつつ、顧客に密着した生産・物流体制の更なる改善にも取り組んでまいりました。又、昨年立ち上げました米国ウエストバージニア州の新工場において製造する、自動車向け高機能樹脂製品の顧客への早期販売開始に向けて、引き続き、鋭意活動しております。

当社グループの研究開発活動においては、環境材料事業の「リアクティブポリマー技術導入の歩留り剤・凝結剤」の研究開発が高い評価をいただき、紙バルブ技術協会の「佐々木賞」を受賞いたしました。これもひとえに関係各位のご支援・ご協力の賜物と、深く感謝申し上げます。今回の受賞を励みに、今後も業界の発展及びお客様の課題解決に

貢献できるよう、技術力・開発力の強化に努めてまいります。

当中間連結会計期間の当社グループの経営成績は、高機能材料、環境材料、食品材料の各事業部が各々の事業領域において積極的な販売活動を推進した結果、売上高は前年同期を上回りましたが、利益面においては、原材料価格及びエネルギーコスト上昇の影響等を受け、各段階の利益が前年同期を下回る結果となりました。

今後も、当社グループは事業の重点化と他社との差別化を重要な戦略と位置づけ、引き続きグローバルな視野に立ち、ビジネスの強化と事業領域の拡大に向けグループの総力を結集することで、株主の皆様のご期待にお応えできるよう努力を重ねてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



経営理念

当社は積極的なビジネス展開を進め
常に知恵を生かしながら
『お客様にとってなくてはならない』存在として
付加価値の高い製品 サービスを提供し また
地球環境の保全を重要な使命の一つであると認識し
真に社会に貢献できる企業となることを目指しています

SOMAR's Mission Statement
Driven by the desire to make valuable contributions to society, we leverage our business acumen to provide high value-added products, goods and services as an indispensable partner who recognizes the importance of protecting the environment.



SOMAR Corporation



社会が求める価値観の多様化・細分化が進む中、「知恵を生かす」という経営理念のもと、社会に役立つ新たな製品や技術の創出に努めつつ、地球環境の保全や、人々の安全・安心と豊かさに繋がる次世代技術にも果敢に挑戦し、企業価値の向上、適正な株主還元に取り組んでまいります。

◆ 事業の内容

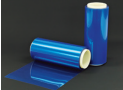


【メーカーと商社2つの顔を持つソマル】

企業が課題とするテーマが高度化・複雑化していく中、多様化する社会のニーズに応えるため、当社は「メーカー機能」と「商社機能」を併せ持つ企業として、相互の機能を有効に活用し、お客様がかかえる課題の解決に向けて、適切な提案ができるよう努めております。

今後も、お客様とともに課題を解決していく良きパートナーとして日々精進してまいります。



【事業セグメント】

	高機能材料事業	主な製商品：コーティング製品、高機能樹脂製品、電子材料、機能性樹脂等
売上高： 10,969 百万円（前年同期比 3.8%増）	営業利益： 1,309 百万円（前年同期比 3.9%減）	電子機器業界向け関連製商品はモバイル市場・半導体関連市場の需要が堅調に推移し、自動車部品業界向け製商品はHEV車・BEV車の増産を背景にEV関連向けの受注が好調を維持した結果、売上高は増加しましたが、原材料価格及びエネルギーコスト上昇の影響等を受け、営業利益は減少しました。
	環境材料事業	主な製商品：工業用殺菌剤、防腐剤、防カビ剤等
売上高： 3,029 百万円（前年同期比 10.6%減）	営業利益： 77 百万円（前年同期比 15.9%減）	新規商材の発掘や市場の開拓、積極的な拡販活動に取り組むとともに、紙パルプ技術協会の「佐々木賞」を受賞するなど、紙パルプ業界で高い評価を受けた新規ポリマーを導入した多機能凝結剤・歩留剤の販売実績化を推進しておりますが、製紙業界各社の生産調整等の影響を受け取扱数量が減少した結果、売上高・営業利益が減少しました。
	食品材料事業	主な製商品：増粘安定剤（グァーガム等）、乾燥野菜、香料等
売上高： 1,295 百万円（前年同期比 9.0%増）	営業利益： 76 百万円（前年同期比 19.7%増）	増粘安定剤分野は市場価格の高騰に起因した使用量の減少・代替品への切り替え等により売上が落ち込んだものの、乾燥野菜分野は業務用加工食品向けの需要が底堅く推移したことに加え、商材の拡充・新規商材の拡販等の施策が奏功した結果、売上高・営業利益が増加しました。

◆ 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (千円)

科 目	前連結会計年度 2025年3月31日現在	当中間連結会計期間 2025年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	22,733,389	23,989,183
固定資産	8,238,900	8,383,482
有形固定資産	4,628,280	4,645,669
無形固定資産	113,213	111,852
投資その他の資産	3,497,407	3,625,960
資産合計	30,972,290	32,372,666
【負債の部】		
流動負債	*8,919,983	4,915,196
固定負債	1,879,291	6,977,757
長期借入金	1,000,000	6,000,000
資産除去債務	69,291	82,455
退職給付に係る負債	5,330	5,078
その他	804,669	890,223
負債合計	10,799,274	11,892,953
【純資産の部】		
株主資本	16,382,707	17,049,031
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,473,939	4,473,939
利益剰余金	6,857,108	7,523,927
自己株式	△63,564	△64,060
その他の包括利益累計額	3,790,308	3,430,681
純資産合計	20,173,016	20,479,712
負債純資産合計	30,972,290	32,372,666

* 前連結会計年度の流動負債には、「1年内返済予定の長期借入金 4,000,000千円」が含まれております。

◆ 株式の状況 (2025年9月30日現在)

発行可能株式総数 6,000,000株
発行済株式の総数 1,958,734株
株主数 1,511名
大株主

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社ナガツタコーポレーション	638	32.9
多摩興産株式会社	237	12.3
株式会社三井住友銀行	89	4.6
有限会社龍和	57	2.9
秋元 利規	50	2.6
株式会社日本カストディ銀行	48	2.5
三菱UFJ信託銀行株式会社	47	2.5
INTERACTIVE BROKERS LLC	47	2.4
株式会社三菱UFJ銀行	42	2.2
ソマール従業員持株会	28	1.4

(注) 持株比率は自己株式 (20,724株) を控除して計算しております。

中間連結損益計算書 (千円)

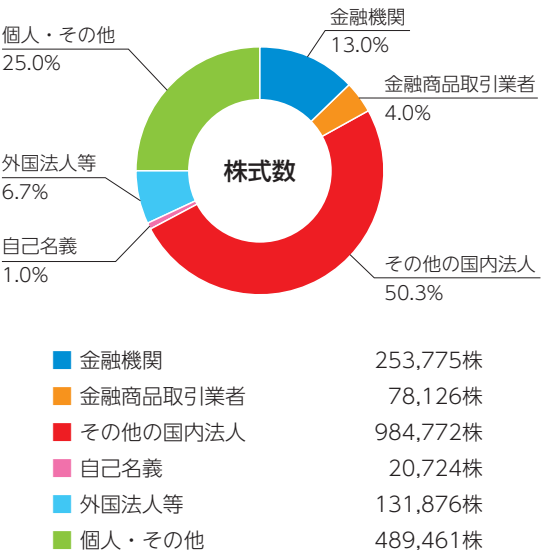
科 目	前中間連結会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当中間連結会計期間 2025年4月1日～ 2025年9月30日
売上高	15,177,883	15,323,050
売上原価	11,826,245	11,909,084
売上総利益	3,351,638	3,413,966
販売費及び一般管理費	1,980,342	2,118,216
営業利益	1,371,296	1,295,749
営業外収益	134,250	100,312
営業外費用	19,263	134,041
経常利益	1,486,283	1,262,021
特別利益	*183,199	－
特別損失	24,004	18,453
税金等調整前中間純利益	1,645,477	1,243,567
法人税等合計	442,997	382,939
中間純利益	1,202,480	860,628
親会社株主に帰属する 中間純利益	1,202,480	860,628

* 前中間連結会計期間の特別利益は、「投資有価証券売却益 183,199千円」であります。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (千円)

科 目	前中間連結会計期間 2024年4月1日～ 2024年9月30日	当中間連結会計期間 2025年4月1日～ 2025年9月30日
営業活動による キャッシュ・フロー	54,052	1,546,600
投資活動による キャッシュ・フロー	△99,407	△564,700
財務活動による キャッシュ・フロー	662,885	880,365
現金及び現金同等物に 係る換算差額	399,973	△373,102
現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	1,017,503	1,489,162
現金及び現金同等物の 期首残高	6,343,663	8,978,283
現金及び現金同等物の 中間期末残高	7,361,167	10,467,446

所有者別株式分布状況



◆ 会社概要 (2025年9月30日現在)

商 号	ソマール株式会社
英 文 商 号	SOMAR CORPORATION
設 立	1948年2月26日
資 本 金	5,115,224,639円
発行済株式数	1,958,734株
従 業 員	連結 468名 単体 316名

◆ 役 員 (2025年9月30日現在)

代 表 取 締 役 社 長	曾 谷	太
常 務 取 締 役	小 林	樹
常 務 取 締 役	牛 尾	次
取 締 役	関 口	久
取 締 役	坂 本	昇
取 締 役	春 日	孝
取 締 役	島 田	史
常 勤 監 査 役	今 井 原	俊
監 査 役	亀 山	晴
監 査 役	中 島	玲
		史

(注) 1.取締役坂本昇氏、春日孝之氏及び島田史子氏は、社外取締役であります。
2.監査役亀山晴信氏及び中島玲史氏は、社外監査役であります。

◆ 株主メモ

事 業 年 度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確 定 日	3月31日
中間配当金受領株主 確 定 日	9月30日
株 主 総 会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電 話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公 告 の 方 法	電子公告により行います。 公告掲載URL https://www.somar.co.jp (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、単元未満株式買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社は、歌舞伎俳優の十代目松本幸四郎氏をプロデューサーに迎え、オリジナルスキンケアブランド「凄艶（せいえん）®」の第1弾商品「とろみ水クレンジング」の販売を開始いたしました。

保湿成分「P-ポリマー」とモリンガオイル（ワサビノキ種子油）を配合し、高い保湿効果と適度な油分を与える仕組みにより、保湿効果で乾燥を防ぎ、肌にハリを与えます。

ぜひともお買い上げいただき、お試しください。

- ・凄艶ブランドサイト
<https://seien-cosme.com>
- ・ECサイト
<https://shop.seien-cosme.com/>

